

4 章末問題

解答→



問1 感染症の治療についての記述のうち、正しい組合わせを選べ。

- 抗菌薬は解熱作用と抗炎症作用を目的に使用する。
- 培養により菌（微生物）が検出された場合、すべての検出菌に対し抗菌薬の投与を考慮すべきである。
- 抗菌薬はアレルギーを起こしやすいため投与後の観察が望まれる。
- 感染症の疑いは弱く、保菌と判断した場合は積極的に抗菌薬を使用すべきでない。

選択肢 ① a, b ② c, d ③ a, c ④ b, c ⑤ b, d

問2 抗菌薬の作用機序についての記述のうち、正しい組合わせを選べ。

- ペニシリン系やカルバペネム系のβ-ラクタム系抗菌薬は、時間依存性で殺菌的な作用を示す。
- ニューキノロン系抗菌薬は、DNAの合成阻害作用により抗菌作用を示す。
- アミノグリコシド系抗菌薬は、細胞膜に作用し静菌的に抗菌作用を示す。
- グリコペプチド系抗菌薬は、薬酸代謝を阻害し抗菌作用を示す。

選択肢 ① a, b ② c, d ③ a, c ④ b, c ⑤ b, d

問3 抗MRSA薬について正しいものを1つ選べ。

- バンコマイシンは急速に血中濃度を上げる必要があるため、30分以内に投与することが推奨される。
- ダプトマイシンはMRSA肺炎に対し第一選択薬として推奨されている。
- アルペカシンは濃度依存性であるため、1回の投与量を増やすことで治療効果が増える。
- リネゾリドの主な有害作用の1つとして、腎機能障害があげられる。

問4 消毒薬の適正使用についての記述のうち、正しい組合わせを選べ。

- 消毒は物質中のすべての微生物を死滅、または除去することを行う。
- アルコール消毒薬は揮発性があるため、開封後の有効期間が推奨されている。
- クロストリディオイデス・ディフィシルなどの芽胞を形成した細菌に対しては、消毒用アルコールは特に有効である。
- 次亜塩素酸ナトリウムはエンベロープをもたないノロウイルスに有効である。

選択肢 ① a, b ② c, d ③ a, c ④ b, c ⑤ b, d

問5 消毒薬についての記述のうち、正しい組合わせを選べ。

- 高水準消毒薬は、ほとんどの微生物に効果を示し、人体や環境、排泄物に至るまで幅広く使用できる。
- 中水準消毒薬である次亜塩素酸ナトリウムは、非金属類やリネン類や環境消毒に適している。
- ポビドンヨードは速乾性のため、新生児から成人まで使用しやすい。
- 低水準消毒薬は、結核菌、ウイルスやアスペルギルスには効果が弱く、一般細菌を主にターゲットとして使用する。

選択肢 ① a, b ② c, d ③ a, c ④ b, c ⑤ b, d

5 章末問題

解答→



問1 【A群】に関係する抗がん薬を【B群】から選べ。

【A群】

- DNAのアルキル化
- 微小管の重合促進
- DNA鎖との架橋形成
- トポイソメラーゼⅠ阻害
- トポイソメラーゼⅡ阻害

【B群】

- イリノテカン
- パクリタキセル
- シクロホスファミド
- シスプラチン
- ドキシルビン

問2 嘔気・嘔吐が強く出現する抗がん薬はどれか。

- プレオマイシン
- ビンクリスチン
- シスプラチン
- プスルファン
- イリノテカン

問3 【A群】の分子を標的とする治療薬を【B群】から選べ。

【A群】

- CD20
- EML4-ALK
- EGFR
- VEGF
- BCR-ABL

【B群】

- クリゾチニブ
- リツキシマブ
- イマチニブ
- ゲフィチニブ
- ペバシズマブ

問4 分子標的治療薬の投与時に発症しやすい、悪寒、発熱、悪心、発疹、痒痒感などの症状が見られる有害作用をなんというか。

- トランス
- アレルギー反応
- 誘発反応
- インフュージョンリアクション

問5 免疫チェックポイント阻害薬に関与が深い分子はどれか。

- PD-1
- VEGFR-2
- HER2
- mTOR
- BRAF

6 章末問題

解答→



問1 免疫担当細胞とその働きで正しいのはどれか。

- a) NK細胞 — 抗原の提示
- b) マスト細胞 — 補体の活性化
- c) 形質細胞 — 抗体の産生
- d) ヘルパーT細胞 — 貪食

問2 副腎皮質ステロイドの作用として、代表的なものを1つ選べ。

- a) mTORを抑制し、T細胞の増殖を抑制する。
- b) 葉酸代謝を阻害し、核酸やアミノ酸の合成を抑制する。
- c) カルシニューリンを阻害し、IL-2などの発現を抑制する。
- d) ヤヌスキナーゼを阻害し、IL-2刺激に伴う細胞内シグナルを抑制する。
- e) グルココルチコイド受容体と結合し、炎症性サイトカインの発現を抑制したり、好中球の遊走を低下させる。

問3 阻害することで免疫が増強される分子として代表的なものを2つ選べ。

- a) IgE b) IL-6 c) IL-17 d) IL-23
- e) CD20 f) PD-1 g) CTLA-4 h) TNF- α

問4 免疫抑制薬に関する以下の記述で誤っているものはどれか。

- a) タクロリムスは、T細胞の転写因子(NFAT)の核内移行を促進し免疫を抑制する。
- b) トリシマブはIL-6受容体に結合し、IL-6の受容体結合によるシグナル伝達を阻害する。
- c) ミコフェノール酸は、リンパ球のグアノシン産生を抑制し、T細胞、B細胞の増殖を低下させる。
- d) インフリキシマブは血清中のTNF- α に結合し、細胞膜のTNF受容体への結合を阻害する。
- e) アナキラは細胞膜のIL-1受容体に結合し、IL-1の受容体結合によるシグナル伝達を阻害する。

問5 弱毒生ワクチンを2つ選べ。

- a) 麻疹ワクチン b) 結核ワクチン c) 百日咳ワクチン
- d) B型肝炎ワクチン e) ジフテリアワクチン
- f) インフルエンザワクチン g) パピローマウイルスワクチン

7 章末問題

解答→



問1 酵素と生成物との組み合わせを正しくつくれ。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 【酵素】 1) COX-1 | 【生成物】 a) アラキドン酸 |
| 2) COX-2 | b) PGE ₂ |
| 3) ホスホリパーゼA ₂ | c) TXA ₂ |
| 4) リボキシゲナーゼ | d) ロイコトリエン類 |

問2 薬物と作用標的分子との組み合わせを正しくつくれ。

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 【薬物】 1) オザグレル | 【作用標的分子】 a) シクロオキシゲナーゼ |
| 2) ジフェニヒドラミン | b) トロンボキサン合成酵素 |
| 3) セラトログラスト | c) トロンボキサンTP受容体 |
| 4) プラシノカスト | d) ヒスタミンH ₁ 受容体 |
| 5) ロキソニン | e) ロイコトリエン受容体 |

問3 化学メディエーターとその作用を正しく組み合わせよ。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 【化学メディエーター】 1) ロイコトリエン | 【作用】 a) 胃粘膜血流増加 |
| 2) PGE ₂ | b) 血管内皮細胞刺激 |
| 3) PGI ₂ | c) 血小板凝集 |
| 4) TXA ₂ | d) 疼痛増強 |
| 5) ヒスタミン | e) 白血球遊走化 |

問4 ステロイドホルモン(糖質コルチコイド)の有害作用と、それをもたらす原因に該当する作用を正しく組み合わせよ。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 【有害作用】 1) 感染 | 【本来の作用】 a) 血糖上昇 |
| 2) 骨粗鬆症 | b) 抗炎症 |
| 3) 創傷治癒遅延 | c) 脂肪代謝 |
| 4) 糖尿病 | d) タンパク質分解 |
| 5) 肥満 | e) 免疫抑制 |

問5 次の記述は正しいか、それとも誤りか、○×を判断せよ。

- a) アレルギー反応の正体は、血管拡張と透過性亢進である。
- b) ロイコトリエンは白血球に関係が深い。
- c) 抗アレルギー薬の作用点は、メディエーターの「放出」「合成」「受容体」である。
- d) 抗アレルギー薬を内服したら眠気を催したのは、プロスタグランジンを抑制したからだ。
- e) アスピリンなどNSAIDsは痛みの原因を直接抑制するために効率よく鎮痛作用が得られる。
- f) ステロイド製剤の有害作用が疑われたら、直ちに内服を中止するのがよい。

9 章末問題

解答→



問1 中枢神経系に関する以下の文について、() に適切な語句を入れよ。

- a) アセチルコリンはアセチル-CoAとコリンから (①) とよばれる酵素により合成され、神経伝達物質として放出されると、(②) で分解される。
 b) 神経伝達物質ドパミンは前シナプスから放出されると後シナプスにあるドパミン受容体を刺激し、前シナプスにある (③) で再取り込みされる。また、(④)、(⑤) により不活性化(代謝分解)される。
 c) 神経伝達物質 GABA の受容体には (⑥) と (⑦) という2種類の受容体がある。

問2 睡眠薬・抗不安薬について、正しいものには○、間違っているものには×を記せ。

- a) ベンゾジアゼピン受容体アゴニストは GABA_A 受容体のベンゾジアゼピン結合部位に結合し、抑制性神経伝達物質である GABA の作用を増強する。
 b) ベンゾジアゼピン受容体アゴニストは睡眠作用の他、抗不安作用、筋弛緩作用、抗痙攣作用を有する。
 c) ベンゾジアゼピン受容体アゴニストの長期使用により耐性と身体依存が形成される。
 d) 短時間作用型のベンゾジアゼピン系睡眠薬では前向き健忘やせん妄が現れる場合がある。

問3 睡眠薬・抗不安薬に関する以下の文について、正しいものには○、間違っているものには×を記せ。

- a) オレキシン受容体アンタゴニストは睡眠薬として用いられる。
 b) メタゾドン受容体アゴニストは抗不安薬としても使用される。
 c) フルマゼニルはベンゾジアゼピン受容体アンタゴニストである。
 d) フルマゼニルは睡眠薬、抗不安薬として用いられる。

問4 うつ病の薬物治療について誤りはどれか。

- a) 抗うつ薬の主な薬理作用はセロトニンやノルアドレナリンの再取り込み阻害である。
 b) 抗うつ薬の治療効果発現には2週間以上が必要である。
 c) 最初の抗うつ薬治療により患者の80%が寛解(うつ症状がおおむね消滅)する。
 d) うつ病の薬物療法は寛解後も6カ月～1年以上の継続・維持療法が必要である。
 e) 三環系抗うつ薬は抗コリン作用や心毒性が強いため、SSRIやSNRIが第一選択薬となる。

問5 抗精神病薬の有害作用で主にドパミンD₂受容体遮断によるものはどれか、すべて選べ

- a) 鎮静 b) 悪性症候群 c) 起立性低血圧
 d) 高プロラクチン血症 e) パーキンソン症候群

問6 抗パーキンソン病薬の急激な減量や中止に伴い発症する危険性が高いのはどれか。

- a) 悪性症候群 b) ジスキネジア c) 衝動性行動障害(病的賭博、性欲亢進)
 d) 心臓弁膜症 e) 閉塞隅角緑内障

11 章末問題

解答→



問1 肥満をもたらしやすい糖尿病治療薬はどれか、2つ選べ。

- a) DPP-4阻害薬 b) SGLT2阻害薬 c) インスリン製剤
 d) ビグアナイド薬 e) スルホニル尿素(SU)薬

問2 スタチンを投与すべきでないのはどれか、2つ選べ。

- a) 妊娠中 b) 心筋梗塞の既往 c) 2型糖尿病の併存
 d) 慢性腎臓病の併存 e) 未治療の甲状腺機能低下症の併存

問3 抗甲状腺薬を内服中の患者が、電話で次の症状を訴えた。直ちに再診させるべきなのはどれか、2つ選べ。

- a) 下痢 b) 不眠 c) 咽頭痛 d) 褐色尿 e) 手指のふるえ

問4 (①) ～ (⑥) に入る適切な語句を記載せよ。

骨粗鬆症は骨強度が低下することにより (①) のリスクが増加する疾患であり、骨リモデリングにおいて (②) が (③) を上まわることがその要因である。治療薬には、破骨細胞に取り込まれてアポトーシスをもたらすことにより (②) を抑制する内服薬 (④) や、骨芽細胞の受容体に直接作用して (③) を促進する注射薬 (⑤) などがある。(④) を投与するタイミングは必ず (⑥) とし、十分量の水で内服し、服用後30分間は横にならずに飲食や併用薬の内服を避けるように指導する。

問5 痛風発作時に直ちに投与を開始する治療薬はどれか。

- a) コルヒチン b) 尿アルカリ化薬 c) 尿酸生成抑制薬
 d) 尿酸排泄促進薬 e) 尿酸分解酵素薬

問6 (①) ～ (④) に入る適切な語句を記載せよ。

下垂体後葉から分泌されるホルモンには、乳汁分泌を促進する (①) と腎臓で水の再吸収を促進する (②) がある。(①) の製剤は分娩時の子宮収縮誘発に、(②) の製剤は (③) の治療に用いられる。一方、(②) の受容体を阻害する薬 (④) は心不全や肝硬変の際の水分貯留に対する利尿薬として用いられる。

10 章末問題

解答→



問1 () に適切な語句を選び、記号で答えよ。

血圧 = () × () であらわされる。

- 選択肢 ①精神的緊張 ②心拍数 ③心拍血量 ④交感神経活性度 ⑤動脈硬化度
⑥末梢血管抵抗 ⑦静脈血流圧 ⑧心臓収縮力 ⑨水分量

問2 A群の高血圧治療薬について注意すべき有害作用をB群より選べ。

- 【A群】 a) 利尿薬 b) カルシウム (Ca) 拮抗薬 c) レニン-アンジオテンシン (RA) 系阻害薬 d) α遮断薬 e) β遮断薬 f) ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬
【B群】 1) 徐脈 2) 歯肉肥厚 3) 立ちくらみ 4) 喉頭浮腫 5) 低カリウム血症 6) 女性性乳房

問3 A群の狭心症治療薬に関連する事項についてB群より選べ。

- 【A群】 a) 硝酸薬 b) カルシウム (Ca) 拮抗薬 c) レニン-アンジオテンシン (RA) 系阻害薬 d) ニコランジル e) 抗血小板薬 f) 血栓溶解薬
【B群】 1) 心筋梗塞 2) 異型狭心症 3) K⁺チャネル 4) 冠血管拡張 5) アスピリン 6) 交感神経

問4 心不全治療に関する以下の文章で正しいものには○、間違っているものには×を記せ。

- a) 心不全治療ガイドラインでは高血圧の患者もステージAに分類される。
b) ギギタリスは心不全治療で現在よく使われる薬である。
c) 心不全では血液の量を増やして血流を保つことが重要である。
d) 心筋梗塞を起こした患者では将来の心不全に注意する。
e) ファンタスティック4といわれる薬は「SGLT2阻害薬」[ARNI]「β遮断薬」[ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬]である。
f) 交感神経の活性化は心不全に予防的に働く。

問5 不整脈薬について、正しい組合わせを選べ。

- a) 不整脈は抗不整脈薬を用いて積極的に調律に戻すべきである。
b) 心房細動の治療は抗血小板薬を用いた脳梗塞の予防が重要である。
c) アミオダロンはカリウムチャネルの阻害薬である。
d) 頻脈性不整脈の治療にはβ遮断薬を用いることがよくある。

選択肢 ①a, b ②c, d ③a, c ④b, c ⑤b, d

問6 A群の利尿薬に関連する事項についてB群より選べ。

- 【A群】 a) サイアザイド系利尿薬 b) ループ利尿薬 c) SGLT2阻害薬 d) 炭酸脱水素酵素阻害薬 e) 浸透圧利尿薬 f) ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬 g) パンプレシンV₂受容体拮抗薬
【B群】 1) 脳浮腫改善 2) 抗糖尿病薬 3) 高カリウム血症 4) 線内障 5) ヘンレ係蹄 6) 多発性嚢胞腎 7) 高カリウム血症

問7 利尿薬について、正しい組合わせを選べ。

- a) 利尿薬の主なターゲットとなる電解質はカリウムである。
b) 痛風の既往のある患者にサイアザイド系利尿薬の使用は注意が必要である。
c) 炭酸脱水素酵素阻害薬では代謝性アシドーシスを起こすことがある。
d) ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬は血清カリウムを低下させる。

選択肢 ①a, b ②c, d ③a, c ④b, c ⑤b, d

問8 腎性貧血治療薬についてまとめた、(①) ~ (⑤) に入る適切な語句を記せよ。

慢性腎不全に伴って貧血が進むが、これまで使われている (①) は注射薬であるため治療が通院時に限られるデメリットがあった。(①) は (②) で活性化される (③) という物質により増加する。(③) は (④) によって分解されるため、(④) を阻害する薬が経口薬として現在使われるようになった。またカリウムの排泄が落ち高カリウム血症も起こる。最近、非ポリマー無機陽イオン交換化合物である (⑤) が使われるようになり、速効性に高カリウムを是正できるようになった。

問9 脳血管障害に関する以下の文章で正しいものには○、間違っているものには×を記せ。

- a) 小さな脳梗塞では介護につながるような後遺症は起こらない。
b) ラクナ梗塞は高血圧が原因で起こる脳梗塞で重症化しやすい。
c) 心原性脳梗塞の予防には抗血小板薬を用いる。
d) グリセロールは脳浮腫を治療・予防する点滴薬である。
e) くも膜下出血に伴って起こる血管痙攣に使用できる薬剤はない。
f) 動脈硬化性の血管障害が疑われる場合には抗血小板薬を用いて脳梗塞を予防する。

問10 血栓症治療に対する薬物と作用標的分子との組合わせを正しくつくれ。

- 【薬物】 1) アスピリン 2) クロピドグレル 3) シロスタゾール 4) セラトログラスト 5) t-PA 6) ヘパリン 7) ペラプロスト 8) フルファリン
【作用標的分子】 a) アンチトロンビンⅢ b) ADP受容体P2Y₁₂ c) シクロオキシゲナーゼ d) トロンボキサンTP受容体 e) ビタミンK再利用酵素 f) プラスミノーゲン g) プロスタサイクリンP受容体 h) ホスホジエステラーゼ

12 章末問題

解答▶



問1 消化性潰瘍治療薬についてA群に対応する薬をB群から選べ。

【A群】

- 1) プロトンポンプ阻害薬
- 2) ヒスタミン H_2 受容体拮抗薬
- 3) 抗コリン薬
- 4) プロスタグランジン製剤 (防御因子増強薬)
- 5) 組織修復・粘膜保護作用薬 (防御因子増強薬)

【B群】

- a) オメプラゾール
- b) テプレノン
- c) ビレンゼピン
- d) ファモチジン
- e) ミソプロストール

問2 制吐薬に関する次の文章の (①) ~ (③) に入る適切な語句を記載せよ。

嘔吐は上部消化管に入ってきた有害物質を生体内から除去するための反射である。悪心とは今にも吐きそうな不快な切迫感である。制吐薬はドンペリドンのような (①) 遮断薬が比較的以前から使用されていた。グラニセトロンのような (②) 遮断薬はシスプラチンなどの抗がん薬による嘔吐に対して有効であり、アプレピタントのような (③) 遮断薬は抗がん薬の遅発性嘔吐に対しても有効である。

問3 下痢に関する次の文章の (①) ~ (④) に入る適切な語句を記載せよ。

比較的最近に登場したクロライドイオンチャネル活性化薬であるルビプロストンは、腸粘膜上皮に発現している (①) を活性化し、(②) が腸管内腔に放出され、それに伴い腸管内腔の (③) が増加し便の (④) が促進される。

問4 気管支喘息の治療薬に対して正しいものには○、間違っているものには×を記せ。

- a) ステロイド投与は静脈投与が原則である。
- b) サルタモールは気管 (支) のアドレナリン β_2 受容体に作用して効果を発揮する。
- c) テオフィリンは気管支平滑筋のホスホジエステラーゼ5を阻害する。
- d) アミノフィリンは有効血中濃度の範囲が狭いため治療薬物モニタリング (TDM) が必要である。
- e) モンテルカストは気管支喘息の発作時に有効な薬物である。

問5 以下の薬は泌尿器科系でよく使われる薬である。A群に対応する薬をB群から選べ。

【A群】

- 1) 過活動膀胱治療薬 (アドレナリン β_3 受容体刺激薬)
- 2) 過活動膀胱治療薬 (抗コリン薬)
- 3) 前立腺肥大症治療薬 (アドレナリン α_1 受容体遮断薬)
- 4) 前立腺肥大症治療薬 [ホスホジエステラーゼ5 (PDE5) 阻害薬]
- 5) ED (勃起障害) 治療薬

【B群】

- a) タダラフィル
- b) タムスロシン
- c) トルテロジン
- d) ミラベロン
- e) シルデナフィル

13 章末問題

解答▶



問1 次の1) ~ 5) に有効な薬物をa) ~ e)の中から選べ。

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1) 褥瘡 | a) ヒスタミン H_1 受容体阻害薬 |
| 2) 尋常性ざ瘡 (にきび) | b) ボビドンヨード・シュガー配合軟膏 |
| 3) 透析患者にみられるかゆみ | c) アダバレン |
| 4) アトピー性皮膚炎 | d) オピオイド κ 受容体アゴニスト |
| 5) 乾癬 | e) 活性型ビタミン D_3 製剤 |

問2 正しいものに○、誤っているものに×を示せ。

- a) 乳幼児や高齢者の皮膚は薬物の吸収が遅い。
- b) 皮膚に塗る薬 (外用薬) は有効成分を皮膚に留めておくため、基剤とよばれる成分に混合して使用されている。
- c) 皮膚の炎症に応じて、強いステロイド外用薬、弱いステロイド外用薬などの選択が行われる。
- d) 顔面の炎症に用いられるステロイド外用薬は強いものを選ぶ。
- e) 褥瘡の治療法の1つにうじ虫に創傷部位を食べさせる療法がある。

問3 正しいものに○、誤っているものに×を示せ。

- a) 緑内障は失明原因の1位である。
- b) ATP受容体アゴニストであるジクアホソルを点眼すると涙液分泌は抑制される。
- c) 胃の粘膜分泌を促進するレバミピドは、点眼により眼球内の粘膜分泌を促進する。
- d) 加齢黄斑変性症は血管の発達が抑制されるために起こる疾患であり、血管新生の促進が治療となる。
- e) 緑内障の原因の1つは眼圧の上昇による視神経の圧迫である。一方で、眼圧が正常でも緑内障になることがある。

問4 次の1) ~ 5) に有効な薬物をa) ~ e)のなかから選びなさい。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1) 緑内障 | a) プロスタグランジン製剤 |
| 2) 白内障 | b) レバミピド |
| 3) 涙液分泌促進 (ドライアイ) | c) ジクアホソル |
| 4) 眼球粘液分泌促進、角膜保護 | d) ペガタニブ |
| 5) 加齢黄斑変性症 | e) ビレノキシン |

14 章末問題

解答 ▶



問1 正しいものには○, 誤っているものには×を記せ。

- a) 漢方薬は植物由来の生薬のみでつくられている。
- b) 多くの漢方薬に含まれている甘草は、摂りすぎると低カリウム血症や低アルドステロン症を引き起こすことがある。
- c) 漢方薬は急性心筋梗塞の救命にも使われるものがある。
- d) 漢方医学の診断法は、西洋医学のそれとは異なる医療体系がある。

問2 1)～5) の症状緩和に用いられる漢方薬を a)～e) の中から選べ。

- | | |
|-------------------|----------|
| 1) 倦怠感、食欲不振 | a) 半夏瀉心湯 |
| 2) 食欲不振、嘔吐症 | b) 当帰芍薬散 |
| 3) 下肢痛、しびれ | c) 牛車腎気丸 |
| 4) 冷え性、更年期障害、月経困難 | d) 六君子湯 |
| 5) 口内炎、下痢 | e) 補中益気湯 |

問3 1)～5) の語句と関連があるものを a)～e) の中から選べ。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1) フレイル | a) 補剛 |
| 2) 高齢者不眠、認知症周辺症状 | b) 大建中湯 |
| 3) 人参、乾姜、山椒、膠飴 | c) 抑肝散 |
| 4) 補中益気湯、十全大補湯、人參養栄湯 | d) 証 |
| 5) 陰陽、虚実 | e) 未病 |

問4 正しいものには○, 誤っているものには×を記せ。

- a) 漢方薬は中国より伝わり、日本で発展した。
- b) 漢方薬はほとんどの疾患に有効に用いることができる。
- c) 漢方薬はすべて市販品として購入できる。
- d) 麻黄の主成分はアドレナリンであり、交感神経活性化作用がある。
- e) 閉塞性呼吸器疾患 (COPD) には人參養栄湯などの漢方薬が用いられる。